



ロータリーは機会の扉を開く

創立昭和28年1月8日

TANABE ROTARY



District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2020-21年度
国際ロータリーテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
-Rotary Opens Opportunities-
ホルガー・クナークRI会長
国際ロータリー第2640地区
藤井秀香ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 ホテル・ウェスト南紀田辺
会長 長井 保夫
幹事 瀧本 利生
会報委員長 橋 一徳
http://tanabe-rc.com/

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊23-6
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「大内宿-福島県南会津-」
撮影 稲田静雄会員

- 司会者
長井保夫会長
- ソング
君が代 奉仕の理想
- ゲスト
和歌山脳外傷友の会 家族会
「和らぎ」紀南
代表 山下 裕子 様
- 米山記念奨学生
シャフィック, ミナ カマル アシャム君

9月24日(木)プログラム

NPO南紀こどもステーション
理事長 堀切 庸滋 様
「20年の歩み」

10月1日(木)プログラム

米山記念奨学生
シャフィック,
ミナ カマル アシャム君
「あなたの知らない
エジプト」

出席報告

	第3288回	第3289回	第3290回
会員数	84名	84名	84名
出席規定免除会員数	8名	8名	13名
出席計算会員数	81名	78名	76名
出席者	63名	63名	60名
出席率	77.78%	80.76%	78.95%

メイクアップ

9月5日 玉井 (米山奨学生卓話研修会)
9月12日 玉井、木村勝 (地区米山寄付増進小委員会)

お祝い

会員誕生日 福本雅、脇村富、田上、山本博、宮本、中田健、岩本、玉置達、大川、川下
配偶者誕生日 那須圭子(敏夫) 山本さゞ子(博章)
濱本さゆり(龍太) 原見美千子(輝彦)
吉田美智子(透) 野村眞起子(富也)
稲田洋子(太門) 稲田光子(静雄)
村上和子(有司) 大崎奈央子(光登)
白井仁子(浩) 玉井眞澄(洋司)
結婚記念日 中田健、松本、住山
皆出席 田中元(2年) 田上(18年) 大川(43年)

ニコニコ箱

☆山下様、ようこそ田辺RC例会においで下さいました。
.....長井、瀧本
☆「和らぎ」紀南」代表山下裕子様、ようこそいらっしゃいました。卓話宜しくお願ひ致します。
.....
.....西嶋、堅田、近藤、野村、玉井、横田、小川、新藤
☆お久しぶりです。.....長井、瀧本

☆久しぶりに集う田辺RC例会を皆で楽しみましょう。
.....濱口、福本雅、廣本、濱本、原見、、伊賀、稲田静、岩本、木村頼、近藤、西嶋、中田吉、住山、杉若、橋、横田、吉田透、真鍋、小川、新藤
☆米山功労者第5回マルチプルを頂きました。.....伊賀
☆会報に写真が掲載されました。ありがとうございます。
.....坪井
☆田辺市内の町内会・子供会・奉仕団体などの旅行・遠足などに、バス代の半額が補助されることになりました！
(10万円まで).....小川
☆久しぶりにロータリーゴルフ優勝しました。..福本雅

お知らせ

会長報告

- ・本日は、しばらくぶりの例会です。新型コロナウイルス感染拡大予防対策を取りながらの開催です。
- ・8月27日に、第2回臨時理事会を開催しました。9月3日の例会取りやめ・本日から例会開催の件、田辺・弁慶映画祭協賛金の件が承認されました。
- ・8月31日にWebにより第3回臨時理事会を開催し、田辺市立新武道館に記念品を寄贈することが承認されました。
- ・本日、第2回定例理事会を開催しました。指名委員会の件、出席義務免除願承認の件、田辺市立新武道館記念品の件が承認されました。指名委員会は、クラブ細則第1条第1節による6名をもって構成する委員について、会長-長井、玉井洋司会長エレクト、三谷昌平元会長、濱口裕作副会長、瀧本利生幹事、会長エレクトが推薦する松本哲会員(次期幹事候補)の6名が承認されました。出席義務免除願については、クラブ細則第9条により、新型コロナウイルス感染の影響にて特別な理由により申し出られた会員(玉置英・池永・那須・脇村明・脇村富 各会員)への出席規定の免除を

承認しました。また、吉田透会員よりクラブ定款第10条第5節(b)の規定(ロータリー歴+年齢=85年以上かつロータリー歴20年以上)に於いて出席義務免除願が提出され、承認されました。田辺市立新武道館の記念品については、新武道館の館内へ設置するデジタルサイネージ(液晶ディスプレイに案内情報などを映像表示する装置)を寄贈します。

- ・ロータリー米山記念奨学会より米山寄付第47回米山功労クラブの感謝状が届いています。
- ・米山寄付により柏木会員が、第2回米山功労者マルチプルに、伊賀会員が、第5回米山功労者マルチプルにられました。ロータリー米山記念奨学会より感謝状が届いていますのでお渡しします。

《濱口副会長》

- ・米山寄付により長井会長が、第2回米山功労者マルチプルにられました。ロータリー米山記念奨学会より感謝状が届いていますのでお渡しします。

幹事報告

- ・9月のロータリーレートは、106円です。
- ・9月5日、高野山に於いて米山奨学生卓話研修会が行われ、玉井洋司地区米山記念奨学委員長が出席されました。
- ・9月12日、和歌山に於いて地区米山寄付増進小委員会が行われ、玉井洋司地区米山記念奨学委員長と木村勝次地区米山寄付増進小委員会委員長が出席されました。
- ・記念切手「日本のロータリー100周年」発行のお知らせが届いています。明日18日より発売されます。
- ・「まんがを活用した薬物乱用防止啓発パンフレット」、南方熊楠ニュースレター、財団ニュース、ハイライトよねやま、ガバナー月信、ザ・ロータリアン、近隣クラブの会報が届いています。しばらくの間は、例会開始前より、入り口近くの机の上に置いて皆様にご覧頂きます。宜しくお願ひ致します。

委員会報告

指名委員会

三谷昌平委員長

- ・本日、例会終了後、地下1階の洋室に於いて第1回委員会を行いますので委員の方は、お残り下さい。

職業分類委員会

中田吉昭委員長

- ・今年度の職業分類表を作成しました。未充填職業を追加していますので、今後の会員増強などにお役立てください。

米山記念奨学生

- ・ミナ君に9月の奨学金をお渡しします。

シャフィック, ミナ カマル アシャム君



皆さんこんにちは、例会に出席でき、久しぶりにお会いできてうれしいです。

プログラム



『高次脳機能障害について』

和歌山脳外傷友の会 家族会
「和らぎ」紀南
代表 山下 裕子 様

皆さんこんにちは、ご紹介いただきました、高次脳機能障害 家族会 和らぎ 紀南の山下です。

「高次脳機能障害」という言葉をお聞きになったことがある方、いらっしゃいますか？
病気やケガで脳にダメージを受けた時、話したり考えたり、新しいことを覚えることが苦手になります。

★脳の働きについて 「高次」とは？

私たちの体は自分が意識しなくても、呼吸したり、血圧や体温を保っています。

目を開ければ物が見えます、聞こえます、においがわかります。こんな働きが脳の低次機能と言われています。そして、目や耳からの情報を記憶し、必要な時に取り出し判断して行動する。言葉や文字を理解してほかの人とコミュニケーションをとる、こんなことが脳の高次機能と言われています。

また、脳は前頭葉なら、理性で感情をコントロールするなど場所によって担当する働きが違います。

- ★息子は高校3年の夏休み、自転車に乗っていて事故に遭いました。「クモ膜下出血」と、6時間意識がない状態が続いた時点で、「びまん性軸索損傷」と診断されました。

「頭への大きな衝撃のために脳が頭蓋骨の中で回転し、いろんなところで脳神経が切れている。今後どんな障害が出るかは、その時になってみないとわかりません。社会復帰は望めません。」ということでした。びまん性というのは、広範囲に広がっているという意味です。息子の後遺障害は、視野欠損・辛いものがわからない味覚異常、右半身の麻痺とそれによる感覚異常、痛みを感じないのでけがをしても気が付かない、汗が右側だけ滝のように流れる、血の通いが悪いのか体温や血圧を測れないなどがあります。それが高次脳機能障害です。

高次脳機能障害は、体のマヒがなく自由に歩いて話せるなど、見ただけではどこに障害があるのかわからないことから、「見えない障害」と言われています。症状や困っていることは、人により様々ですが、皆さんの温かい見守りや、少しの声掛けでずっと暮らしやすくなると思います。怪我や病気が治って、元に戻ったと思われることもあります。中身は前と違っていることを説明するのはむづかしいです。元氣だった息子がそうだったように、誰がいつなるかわかりません。

どうかこの障害にご理解をお願いしたく、今は介護の仕事につき、結婚し、今年父親にもなった息子のこれまでの話をさせてください。

医師の説明から体のマヒは仕方ないかも、と覚悟していましたが、何でもできたかもしれない息子の、こ

れから何十年と続く人生をどうしてやっただろうと、そればかり考えていました。

体中についていたチューブが取れても、ある日ぱっちり目を覚ましたわけではなく、うっすらと目が開いていてもぼーっとして、何も見えていないようでした。少しでも刺激が脳に届くようにと、赤ん坊のように、自分の首も持ち上げられない息子を車いすに乗せ、窓からの景色を見せながら話しかけていました。耳からの刺激にとろんなジャンルの音楽を聞かせ、鼻からの刺激にはミカンをむいて近づけたりしました。動く左手で何かコミュニケーションが取れないかと、グーやパーをして見せて、まねさせたりしていました。

そんなある日、祖父が「じゃんけん・ポン」といって目の前にグーを出すと、息子はパーを出したのです。わあー、ただ真似をしていたんじゃないかな。ちゃんとわかっている、耳も聞こえている、何よりじゃんけんを理解している！！私たちの声は届いていたんだと、目の前が明るくなりました。

それでも一言も話さないで、何とかコミュニケーションが取れないかと、早速文字盤を作っていく見せてみました。目の焦点が合わず、文にならないことも多かったのですが、「お・な・か・い・た・い」とさして、おなかをさすったりもしました。

後から知ったのですが、もし、失語障害があれば、話すだけでなく文字を書いたり、読んだりもむつかしかったそうです。

半年のリハビリで立つことができ、ゆっくり歩くことが出来るようになった息子は、退院後もどうやって歩いたらいいか時にわからなくなり、部屋の中で固まっていたり、突然棒のようにまっすぐになって倒れてくることがありました。

私たちは特に何も考えずに歩いていますが、息子は手に何か持つと途端にバランスを崩し、立っていることもできなくなりました。集中と注意をどう分散したらいいのかわからないので、手に持った物に意識が集中すると、足が出なくなります。暫くは傘もさしませんでした。

右半身がマヒしているので、言語野が傷つき、話すことはできないと私たちは半ばあきらめていました。再び息子の声を聴くことができた時の嬉しさは、今でもはっきり覚えています。

もう一度私たちの世界に戻ってきてくれた!!息子の感じていることを知ることができる!!

また、ここから始めればいい と。

事故から2か月後、息子自身が「気が付いた」という時期です。赤ん坊のように片言から初め、次第に文になっていきました。病室で限られたことだけしていた時には感じなかった違和感、以前の息子とは全然違う。あれもできない、これも忘れて、日々の生活の中で、これまでに身に付けてきたことを、もう一度二人でおさらいする毎日でした。例えば歯磨き、病院でも毎日していたはずですが、ある夜、甘いものを食べてそのまま寝ようとする息子に「寝てる間に虫歯になるよ～」と脅かすと、途端に顔色を変えて歯を磨きに飛んで行きました。それから朝晩磨くようになりま

したが、今度は歯がすり減るのではないかというくらいに、ゴシゴシこすっていたらしくて、歯が痛いと言病に連れて行けば、磨きすぎだといわれました。

それからは、洗面所からの音に気を付けて、ごしごししていたら、「優しく磨くんやで、全部いっぺんにじゃなくて、1本ずつやで」と声をかけました。もう一つ不思議なことに、なぜか歯磨きはお風呂とセットになっていて、どちらか一方だけ済ませるということができません。私は仕事の時は帰宅が夜10時ごろになるのですが、ある日「ケーキをもらったから持って帰るね」と電話して帰ると、息子はお風呂にも入らずに待っていました。「寝るのが遅くなるから、先にお風呂を済ませて着替えてたらよかったのに」というと「だって、食べなあかんから、歯磨きできんもん」ということでした。いったん歯を磨くとそのあとは何も食べてはいけない、だって虫歯になるから・・・だからお風呂も入れないという思考だと思います。夜おながすすいて寝られないときには水を飲んだり、それでもだめだというときには「ヤクルト飲んでもいい？」と柱の陰からそっと聞いてきます。私は「ぶくぶくしたらいいから、飲んでおいで」と答えました。

記憶については

息子に呼ばれてふる場に行くと「僕の体、石鹸のにおいする？もう洗ったんだったかなあって思って」ということもありました。昨日一緒に遊んだ記憶がないので、次の日も同じ友達に来てもらったりしていました。今は仕事場で「昨日は大変だったね」と言われても、記憶がないので勤務が続いても疲れを知りません。今でも家に寄ったのは覚えていても、10分後には何をしに来たのか、全く覚えていないことがあります。映画が好きだったので、初めのころは家でDVDを見て過ごしました。自転車で近所のレンタル店へ行くのが楽しみで、一緒に見ていましたが、同じものを何度も借りてきます。「それ、この前も借りて来てたで～」 「え～」と驚くというやり取りを何度もしました。そのうちに「こんな話のがあるけど、もう観た？」と、私に電話で確認するようになりました。「これ、面白そうやなって思ったら、きっと前にもそう思ったはずやから、やっぱりもう観たかなあと思って」と、少し自分を理解して、対処法を編み出しました。

段取りを考える練習にと、大きなものから順番に洗濯物を干す、指の練習も兼ね洗濯物を畳む。買い物に行ったときには袋詰めを任せていました。大きなもの、重い物から入れるように教えても、どれが重いのか見て判断することができませんでした。例えばおおきな白菜と豆腐、どちらを下に入れればいいのか分からない息子に、毎回教えていました。

1人で買い物に行けるようになって、何をかうのか忘れて、買ったものを置いて来たり。自分の服を買っても、同じものをいくつも買ったり、サイズを確認しないで買ったりしていました。「交換や返品ができなくなるから、レシートは絶対に捨てないこと！」と教えました。すると、私がレシートを集めるのが好きだと思ったのか、ある日「いいものあげる」と言って溜まったレシートをプレゼントしてくれました。苦笑い

するしかありません。今は、なんでもスマホにメモし、常に確認しています。例えば、買い物のメモや、その日の予定です。

おなかですぐと我慢できずに、6時に仕事が終わる娘に「今どこ？いつ帰ってくるの！！」と6時に電話して怒るので、先に食べさせていました。

仕事の日には夕飯を用意していきますが、口で言うだけでは「今夜はカレー」という簡単なことも忘れて、職場に「今日何食べたらいいの？」と電話が来るので、サラダは冷蔵庫、お肉はレンジの中、お味噌汁はガス台の鍋というようにメモを残しました。

★友達が卒業して就職や進学へと進む中、「僕は病院しか行ってない！！」ととても焦っていました。

私は自分の好きなことをして、楽しく過ごしてくれればいいと考えていましたが、「何かしないといけない、自分も働きたい」と息子は考えていたのです。

1年間のリハビリ中も、自転車に乗れるようになると、早速近所のコンビニでバイトを決めてきました。

唐揚げの用意をしながらも、横から声をかけられると、振り返った時にはもう唐揚げのことは頭から消えています。「やりたいことを探すのじゃなく、やれることを探せ」と言われ、サポートセンターの職業訓練を受けました。その後働いた食堂ではレイアウトが変わるだけで、今までできていたことが出来なくなり、うどんを作っているはずが、麺の上に乗っているのはラーメンの具、なんてことも。

自分のおなかですいてくると、お客さんに出すご飯がだんだんと大盛になってくるので、「ご飯食べてきていいよ」と声をかけてもらっていたようです。衣料販売店では、面接をしてくれた理解ある店長が転勤になり、うまくいきませんでした。次のホームセンターでは、1度に言われても理解できないので、1つの作業が終わるたびに報告し、次の作業を簡単な言葉で指示してもらっていました。1月もしないうちにスニーカーに穴が開くほど走り回って頑張っていました。

事故から5年後、介護の仕事をしたいと専門学校の案内を自分で見付けてきました。一緒に通う生徒に降りる駅で声をかけてもらい、駅からはスクールバスがあるので迷わずに休まず2年間電車で通いました。

お箸や鉛筆は右利きから左手に変えましたが早く書いたり、きれいに書くことができずノートはとれないので、先生の話したところを教科書にマーカーを引いてかえり、毎日家でノートに写します。

★簡単な言い回しにしたり、まとめたりすることをアドバイスしてみたが、教科書と違う言葉になると混乱するらしいのでやめました。帰宅後、わき目も振らずに、すぐに本を広げて書き、食後にまた書きとひたすら書き続けていますが、書いた記憶がないので、同じことを何度も書いていました。

なあなあ、で始まる息子の話は目から鱗の奇想天外な話ばかりです。

なあなあ、ウサギは ぴよんぴよん 行くやん

かめは のそのそ 歩いて山の中行くやん

でも、そんなにゆっくりしてたら

かめ 干からびてしまうと思う しぬんちゃうん？

突然ウサギと亀の話の思い出したらいいです。

なあなあ、漢字って いつ使うの？

必要ないと思う。今学校で使ってるよ

内臓など漢字で書くんですが、その勉強中に、月の光って書くんやで、おしゃれやん ぼうこうのこうやのに。

僕って今年はトシオになるんやなあ？？？年男のことを今年だけ名前が変わると思っていたようです。

同級生みんな同じ名前になるやん

こんな風に、時々こちらが「え？？」となることを言いますが本人はいたって本気です。

鍋の蓋を開けて魚の煮物があると、それも食べてしまいおなか痛くなる。

目の前にあると、あるだけ食べるので、2人分を一人で食べてしまい、おなか痛くなるのがたびたびあっても、また繰り返してしまいます。

ローカをまっすぐ行っただけのトイレから戻ってこれなかったりしますが、本人曰く、帰りは方向が反対になり、まったく違う景色に見えるので道がわからないそうです。

お茶をこぼしても「おちゃこぼした おちゃこぼした」と立って眺めていただけだったのが、私がこぼすと、急いでタオルを持ってくるようになりました。

「ただいま」と「おかえり」、「行ってきます」と「おやすみ」の区別がむつかしくても、何気ないことにも素直に「ありがとう」と言えます。

生きていてくれるだけでうれしかったけど、できないことを数えた日々がありました。

元に戻れることをあきらめた後に、少しずつ、できることが増えてき、笑顔に励まされる日々が少しずつ、当たり前になって、前と比べることをしなくなりました。

★理解ある方々、巡り合えたパートナーのおかげで、

「ぼくは人よりも人生濃いかも 2度の人生

フレンドリーになって、すべてが楽しい

嫌なことも生きているから感じられる」息子は言っています。

以前は高次脳機能障害という言葉もなく、それと気づかずに苦しんでいる方もいます。勇気を出して告白した人に「うん、わかるわかる。自分も忘れるよ～」などと返されると、レベルの違いを知っているので、理解されないことを痛感するだけになり悲しくなってしまう。まずは、「そうか、そうだったのか」とただ受け止めてください。

困っている人、おかしい言動をしている人がいたら、もしかしたらそうかもしれない思い出してください。そして、こんな障害があることを、周りの人にも伝えてください。知らないことから来る無神経や差別がなくなり、困ったときには誰でも気軽に助けを求められるのは、誰にとっても暮らしやすい社会ではないかと思えます。